

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	月とおひさま東		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	総合的な療育	何か一つに特化した支援ではなく、日常生活における自立を目指した総合的な療育を支援しています。	教育や保育の現状をしっかりと把握し、関係各位と綿密な連絡を取り合い、支援を行っていく様に努めます。
2	安全配慮	より安心安全にデイ運営を行う為、昨年、施設内の消防設備を全て見直し、消防備品や火災時の通報用設備などを設置致しました。	安全配慮為の研修の受講等を行い、より質の高い対応を行える様に努めます。
3	土日祝等の外出プログラムによる、様々な経験の獲得	長期休暇等には外出訓練を実施する活動を取り入れ、公共マナー等の社会的ルールを学んで頂いたり、様々な経験が出来る支援を行っています。	スタッフの考えたプログラムをメインに活動を決めている為、利用者様が主体的に活動を考え、実行の可否を決定出来る様な機会を設けていきたいと思っております。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信能力	利用のある方には、月毎に会報を発信している。しかしながら、ブログやフェイスブック等の活用を行っていききたいが、うまく運用出来ていない。	SNSをうまく活用出来る様にしていきたい。
2	待機児童	現状のスタッフの数だと、お応え出来ない状況です。	スタッフの採用等を積極的に行い、支援の効率化などを図り、支援していける様に努めます。
3	連絡方法のIC化	現在のご連絡方法が電話(FAX)、メール等が主流となっており、近年進んでいるIC化のご要望がありました。	IC化に向けて、ソフトの導入等を検討中です。